



Weekly Report Rotary

福島中央RC



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市菅根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



皆様こんにちは。

寒暖の差が激しい日々が続いております。体調管理に十分に気を付けてお過ごしください。

私の会長年度もあと1か月を残すところとなりました。無我夢中で過ごした年で、良かったのか悪かったのか、反省する点多々ありますが、顧みる暇もない年でした。

5月は青少年奉仕月間です。この1年、子ども食堂・養護施設・バレーボール大会・サッカー大会などの例年通りの支援を行い、また4月から米山奨学生を受け入れることができました。もっと何かをすることがあったのではないかなど思っているところです。

さて、話は変わりますが、私がロータリークラブに入会して以来ずっと違和感を感じてことがあります。それはロータリーソングの「奉仕の理想」の中の「御国に捧げん我らの生業」の一節です。言葉狩りをするつもりはないのですが、「御国」という言葉はどうしても80年前の軍国主義を連想してしまいます。「奉仕の理想」は作詞が京都RCの前田和一郎さん、作曲が東京RCの荻原栄一さんです。前田さんが書いた詩は、元々は「世界に捧げん我らの生業」だったそうです。戦時中にロータリークラブは米国発祥の為、特別高等警察から目を付けられていたため「御国に捧げん」という歌詞に変えたとのこと。作詞をした前田さんは亡くなる前に「歌詞を「世界に捧げん」に戻してもらいたい」という言葉を残しております。

21世紀に入り、グローバル化が進んでいる今日、前田さんの言うとおりに歌詞を変えることができないものかと強く思っています。現にそのように変えているクラブもあるように聞いております。米国では国歌斉唱やロータリーソングを合唱しないクラブもあるそうです。ということは、これはクラブの裁量に任されているのだと思います。でも私はロータリーソングが大好きで、ロータリーソングは続けるべきだと思っております。

歌詞を変えることについて、皆さんはどのようにお考えでしょうか。



幹事報告

多田 憲司幹事

- 1) 5月24日(土)9:00～あづま総合運動公園にて「県北第一分区2024-25年度分区行事 健康ウォークラリー」が開催されます。当クラブからは佐藤 信雄会長、佐藤 龍史会員が参加いたします。
- 2) 次週例会は5月28日(水)18:00～ウェディング エルティにて、福島南ロータリークラブとの合同夜間例会です。開始時刻がいつもより30分早い18:00からですので、遅れないようおいでください。
- 3) 同5月28日、佐平ビル9階会議室にて15:00～2025-26年度理事会、続けて16:00～2024-25年度理事会を開催いたします。理事・役員の方はよろしくお願いいたします。

2025年5月21日(水)

第35回(通算1622回)

エフズサンパレス

「地区研修・協議会報告①」

例会次第

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 齋藤 康隆会員
- ◆「ロータリーの目的」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長
- ◆米山記念奨学会より感謝状の贈呈
・米山功労者 第12回メジャードナー
佐藤 和子会員
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ロータリーの友5月号の紹介
雑誌委員会 桃井 三夫委員(代読)
 - ・ニコニコBOX委員会報告
植木 博隆委員
- ◆「地区研修・協議会報告①」
司会:次年度副幹事 小林 潤子会員
 - ・会長部会/危機管理委員会/地区運営管理委員会/戦略計画委員会報告
鈴木 努会長エレクト
 - ・会員増強・DEI委員会報告
植木 博隆会員
 - ・公共イメージ・IT委員会報告
斎藤 高紀会員
 - ・青少年奉仕委員会/ローターアクト委員会/学友委員会報告
小林 潤子会員
 - ・米山記念奨学会委員会報告
渡邊 英世会員
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長

本日の出席率

会員数	43名
出席者総数	23名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	56.1%

「地区研修・協議会報告①」

2025-26年度「UNITE FOR GOOD」

司会 小林 潤子次年度副幹事



会長部会/危機管理委員会/
地区運営管理委員会/戦略計画委員会報告
鈴木 努会長エレクト



5月17日パルセいいざかで開催されました地区研修・協議会に参加しました。

会長会では、地区大会決算、賦課金(案)、地区予算(案)が審議され、承認可決されました。

開会セレモニーの後、各セッションにわかれ会長部会に参加しました。まず、泉田 征慶ガバナーエレクトから委員会の事業計画を作成するにあたっての注意をいただきました。委員長が前年度の計画をまねて決定してしまう例が見受けられます。本来事業計画は、委員会メンバーが意見を出し合い共に決定するものであります。ぜひ委員会内で十分に議論を重ねたうえで策定してくださいとのことでした。また、時間と共に人も組織も少しずつ減少していくので、会員増強を強く要望されていました。

続いて、危機管理委員会の早川 敬介ガバナーから、2025-26年度マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長より、国際協議会において「よいことのために手を取りあおう」というメッセージが発表されたとのことをお話をいただきました。また、危機管理の上で

- 1) コンプライアンス(法令順守)
- 2) ハラスメント(人権侵害)
- 3) 個人情報の保護
- 4) パンデミックを含む自然災害

に対応し、各クラブ活動の健全性を高めていかなければならず、特にハラスメントに遭遇しないよう注意してくださいとのことでした。

地区運営管理委員会の芳賀 裕委員長からは、ガバナー事務所が郡山に固定されて2年が経ち、今後は固定費の管理等会計処理のルール作りをしていくとのことでした。また、各種事業開催の事務分担マニュアル作成、地区事務所資料の分

担・整理・保存、提供可能な情報の整理をするという計画についてお話をいただきました。

戦略計画委員会の平井 義郎委員長からは、ガバナー補佐、地区委員会の役割についてお話がありました。内容は、ガバナー方針に基づきクラブと地区の連携、地区内クラブへの情報提供と活動支援、そして未永くクラブが存在し活動を続けるために次世代を担う会員の存在が必要だと会員増強を強調されました。その手段として会員の現状を把握するために、クラブセントラルの目標の入力を毎月行い、進捗状況を共有したいとのことがありました。また、クラブサポートも入力し、会員の現状・満足度を把握し共有したいとのことでした。各クラブの委員会についても、現状を説明いただき、委員会の開催頻度、開催時間、懇親会の開催頻度を、表を使って説明いただきました。

1日を通して、「最大の重要課題は会員増強である」と理解しました。

以上です。ありがとうございました。





会員増強・DEI委員会報告

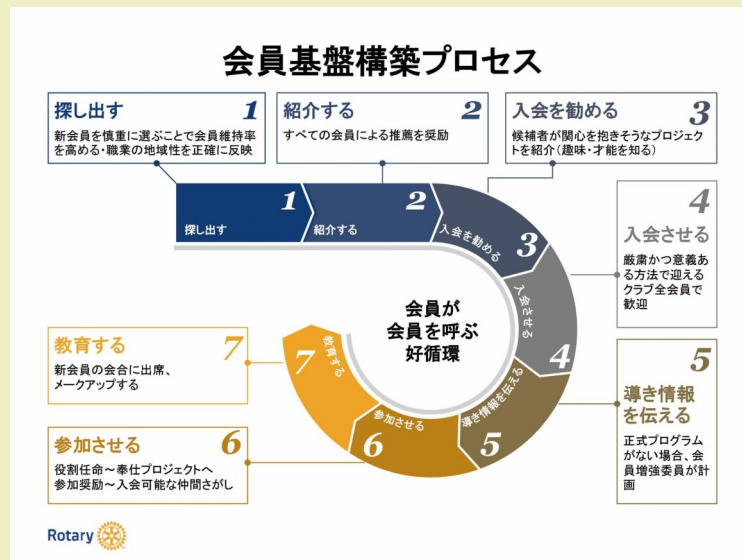
植木 博隆会員

会員増強の基盤構築のプロセスについて学びとハードルを感じることができました。

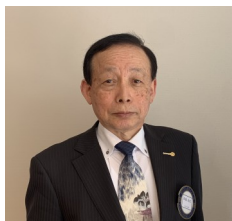
皆様の知見とご協力を賜って、行動して参りたいと思います。

ご支援、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【会員基盤構築プロセス】



1. 探し出す 新会員を慎重に選ぶことで会員維持率を高める
・職業の地域性を正確に反映
1. 紹介する すべての会員による推薦を奨励
2. 入会を勧める 候補者が関心を抱きそうなプロジェクトを紹介(趣味・才能を知る)
3. 入会させる 厳粛かつ意義ある方法で迎えるクラブ全会員で歓迎
4. 導き情報を伝える 正式プログラムがない場合、会員増強委員が計画
5. 参加させる 役割任命～奉仕プロジェクトへ参加奨励～入会可能な仲間さがし
6. 教育する 新会員の会合に出席、メイクアップする



公共イメージ・IT委員会報告

斎藤 高紀会員

午前のセッションⅠは、善方委員長より「委員会の活動方針・活動計画」の説明があり、続いて「地区公共イメージHPとSNSについて」も委員長より説明がありました。続いて佐藤委員より「アンケートの報告とマスメディアとの連携」について報告がありました。

午後のセッションⅡでは、「MyRotaryの活用、ブランドリソースセンターの活用とロゴの適正利用、地区公式マスコットキャラクターについて」、実際の活用面からそれぞれの担当委員から説明がありました。以上が当日の流れでした。

次に、ロータリーの公共イメージ向上に向けた活動方針と具体的な施策について説明の内容を報告します。

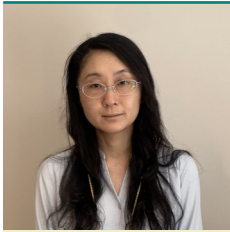
公共イメージとは、社会が「ロータリー」と聞いて思い浮かべるイメージであり、例えばアンケートで見ると「ロータリー」

を知っていると答えた人は47.7%(2023年調査)で、前回2020年調査より認知度が低下している。同調査で、公式ロゴマークの認知度は19.4%で前回の16%より上がっている。

なぜ公共イメージ向上が必要かと言えば、よく知らない人との関係構築が困難であり、会員を増やすこともままらなくなる。ロータリーの理念と奉仕活動の理解を深めてもらうことが重要なのであり、そのために正しい広報が必要なのである。

具体的な公共イメージ向上の施策としては、公式ロゴの活用や、メディアとの友好な関係構築やHP・SNSによる情報発信が有効である。しかし、公式ロゴは適正に使用する必要があるし、ブランドリソースセンターを活用しSNSにも注意が必要である。

また地区の委員会として、各クラブに対しても、ロータリーの理念と活動の理解を深める広報活動とブランド力の向上を支援し、地区の各委員会とも連携強化していく。以上です。



青少年奉仕委員会/ローター アクト委員会/学友委員会報告

小林 潤子会員

青少年奉仕委員会・ローターアクト委員会・学友委員会の研修協議会について報告いたします。

青少年奉仕担当相談役志賀利彦パストガバナーの挨拶から始まり、各次期委員長から来年度の委員会の方針の講話がありました。

次期青少年奉仕委員会増子委員長からは、青少年奉仕についてお話しいただき、ロータリーが目指す青少年奉仕はいかに次世代のリーダーを育てることに尽力するかとの事でした。

次にインターアクトについて吉田隆夫委員長より現在のインターアクトのお話しいただき、どのような活動を行っているのか、また提唱クラブは各インターアクトと密にコミュニケーションをとっていき活動支援を行ってほしいとの事でした。

RYLA委員会菅野拓司次期委員長からはRYLAについてとRYLA研修会をよりよいものとするためにも多くの方に参加してほしいため、対象になる方にはぜひ声掛けをしてほしいとのことでした。

青少年交換委員会藤田元次期委員長からは、青少年交換留学生についてお話しいただき、青少年交換に関して福島県教育委員会の後援を得たとの話がありました。そのため今年からは各高校に案内を送付したとのことでした。

ローターアクト委員会安藤正道次期委員長からは、ローターアクトについて、その後ローターアクトの安達さんから地区のローターアクトクラブの活動について発表がありました。

学友委員会板橋真仁次期委員長からは、学友会についての説明があり、今後の活動に関して協力をお願いがありました。

最後に、学友委員会担当相談役芳賀 裕パストガバナーから青少年奉仕などは、特に外部との交流が多い活動なのでハラスメントには十分注意するようにとの話がありました。



米山記念奨学会委員会報告

渡邊 英世会員

5月17日(土)パレスいいざかにて、地区研修・協議会が行われました。

開会セレモニーがあり、カバナー早川敬介氏の開会点鐘にはじまり、セッション会場は「米山記念奨学会委員会」でした。次期米山記念奨学会 委員長 菅野 秀士氏(郡山RC)の卓話でした。

◆2025-26年度の基本方針

RIテーマ「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取りあおう)です。

セッションⅡは第一会議室にて米山記念奨学会でした。13:20分より始まり、委員長の菅野秀士氏(郡山RC)が話された次年度の目標は次の通りです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本ロータリーの創設者、米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために(平和日本)を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという戦後ロータリアンの強い願いにより、1952年東京ロータリークラブが設立し、現在では日本のロータリー共同で運営している民間奨学団体であり、日本で学ぶ外国人留学生を支援しております。皆さんからの奨学事業にいただいた寄付金はすべて奨学事業に使われています。

管理費は、ほぼ利子収入で賄われてきました。奨学金には、ロータリー米山記念奨学金や地区奨励ロータリー米山記念奨学金、海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金などがあり、月7万円から14万円が支給されます。返済は不要です。米山記念奨学会への寄付は、寄付金控除対象です。今年度の地区の寄付金収入で2年後の地区奨学生割当数が決まります。皆さんのご協力をお願い申し上げます。

◆第2530地区米山記念奨学会委員会 今年度の目標

米山記念奨学事業への正しい理解を深め、米山記念奨学事業の発展と米山梅吉氏の奉仕の理念を学び深める事を、本年度の委員会目標といたします。

1.奨学生受け入れ未経験クラブへの受け入れ支援

2.学友委員会との連携協力

3.寄付目標

普通寄付金5,000円/人

特別寄付金10,000円/人の推進

寄付ゼロクラブゼロの達成

米山記念奨学会委員会は、3小委員会に分かれています。事業の計画、準備等は各担当委員会が小委員長を中心に行い、事業は米山委員会全体で行います。

1.推進委員会

米山記念奨学会への理解促進とそれに伴い寄付金の増額を目指します。米山奨学生の卓話研修会(7月)、米山月間(10月)を担当し、クラブ訪問窓口(随時)、クラブ米山委員長への米山活動紹介、奨学生受け入れ未経験クラブへの受け入れ支援を行います。

2.学友委員会

カウンセラーと協力して米山奨学生のお世話と育成を図ります。カウンセラー研修会(8月)、米山梅吉記念館研修旅行(9月)、米山奨学生体験発表会(11月)、修了式(2月)、新米山奨学生歓迎オリエンテーション、カウンセラーとの顔合わせ(4月)を担当します。

3.選考委員会

学業、異文化理解、コミュニケーション能力を念頭に置いた優秀で夢を持った人柄の良い奨学生を採用します。指定校、地区奨励校の選定、指定校、地区奨励校担当者への説明会の実施。面接委員オリエンテーション(11月)、書類選考(11

月下旬)、選考試験(12月)、奨学生受け入れクラブ、カウンセラー選定(2月)を担当します。

次年度の米山委員会と会員の皆様、目標達成よろしく願います。



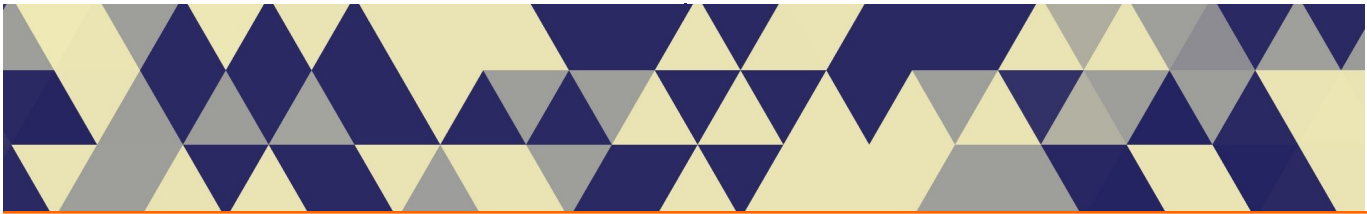
2024-25年度 地区研修・協議会プログラム

地区研修・協議会セッション 正副リーダー・委員一覧

2025年5月17日(土) 会場：パルセいいざか

委員会			
9:00~9:20	会長登録		
9:20~10:00	委員会	司会 地区幹事	佐藤 和夫
	開会点鐘	ガバナー	早川 敬介
	ガバナーあいさつ	ガバナー	早川 敬介
	ガバナーエレクトあいさつ	ガバナーエレクト	泉田 征慶
	《議事》		
	①2024-25年度地区大会決算	地区財務委員長	澤村 正夫
	②2025-26年度地区賦課金(案)	次期地区財務委員長	伊藤 公明
	③2025-26年度地区予算(案)	次期地区財務委員長	伊藤 公明
	④その他		
	《報告事項》		
	①2024-25年度地区中間決算報告	地区財務委員長	澤村 正夫
	②2025-26年度行事予定	次期地区財務委員長	伊藤 公明
10:00	閉会点鐘	ガバナー	早川 敬介
地区研修・協議会			
9:30~10:15	会長以外の参加者登録	司会 次期地区幹事	重富 秀一
10:15~11:10	《開会セレモニー》	ガバナー	早川 敬介
	開会点鐘		
	国歌斉唱		
	ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	遠藤 和人
	実行委員長あいさつ	地区研修・協議会実行委員長	松本 敬三
	歓迎のこたば	後援RC会長	小島 敬三
	ガバナーあいさつ	ガバナー	早川 敬介
	ガバナーエレクトあいさつ	ガバナーエレクト	泉田 征慶
	地区ラーニングファシリテーターあいさつ	地区ラーニングファシリテーター	平井 敬郎
	次期地区ラーニングファシリテーターあいさつ	次期地区ラーニングファシリテーター	佐藤 正道
	バストガバナー・リーダー紹介	次期地区幹事	重富 秀一
	規定審議会報告	規定審議会代表議員	鈴木 邦典
11:10~11:20	セッション会場へ移動		
11:20~12:30	セッションⅠ(70分)		
12:30~13:20	各セッション会場にて休憩(昼食)		
13:20~14:30	セッションⅡ(70分)		
14:30~14:40	本会場へ移動		
14:40~15:30	各分科会報告	9委員会 各5分	
	会長部会・危機管理委員会・地区運営管理委員会・戦略計画委員会		
	幹事部会・RLI委員会・地区ラーニング委員会・地区規定委員会		
	会員増強・DEI委員会		
	公共イメージ・IT委員会		
	職業奉仕委員会		
	社会・国際奉仕委員会		
	青少年奉仕委員会・ロータリーアクト委員会・学友委員会		
	ロータリー財団委員会		
	米山記念奨学会委員会		
15:30~16:00	《閉会セレモニー》	司会 次期地区幹事	重富 秀一
	御礼のこたば	ガバナーエレクト	泉田 征慶
	地区大会のご案内	地区大会実行委員長	中西 一郎
	次期米山奨学生あいさつ	白河西RC会長	阿部 克弘
16:00	閉会点鐘	ガバナー	早川 敬介

分科会	会場	セッションⅠ	セッションⅡ
会長部会 危機管理委員会 地区運営管理委員会 戦略計画委員会	第一会議室①	会長の貴州とクラブ運営上の問題点 泉田 征慶 危機管理委員会について 早川 敬介 戦略計画と行動計画の推進 平井 敬郎	地区運営管理委員会について 秀賀 裕 質疑応答
幹事部会 RLI委員会 地区ラーニング委員会 地区規定委員会	2F ホワイエ	担当相親あいさつ 右近 八郎 RLI組織決定について 秀賀 裕 RLI委員の方針と計画 町田 寛 RLIとは何か？ファシリテーションとは何か？(70分) 佐藤 正道	地区ラーニング委員会について 佐藤 正道 RLI内式ディスカッション テーマ:ファシリテーションをクラブ運営にどう活かすか 山田 悦
会員増強・DEI委員会	第二会議室①	担当相親あいさつ 遠藤 和人 会員増強とクラブ活性化 西山由美子 元熱心クラブはDEIから 堀内 一典	My ROTARYを活用した会員増強と意見交換の事例 伊藤 公明 富岡RCの事例と会員増強に向けたワーク 藤田 大
公共イメージ・IT委員会	オホール 1F A	担当相親あいさつ 佐久間 誠一 カンファレンスあいさつ 二橋 孝 委員会活動方針・活動計画 藤村 邦彦 地区公共イメージとSNSについて 堀内 一典 地区公式マスコットキャラクターについて 清水 研一郎	アンケートの報告とマスメディアとの連携 佐藤 貴也 My ROTARYの活用 菅 孝 デジタルリソースセンターの活用とロゴの適正使用 斎藤 和明
職業奉仕委員会	2F ホワイエ	担当相親あいさつ 大橋 廣治 職業奉仕委員会委員長あいさつ 田代 行孝 職業奉仕委員会 委員会基本方針 田代 行孝 職業奉仕の理念 内藤 昌太郎	ロータリアンの行動規範と4つのテスト 佐藤 悦夫 私の職業奉仕 小沼 一夫
社会・国際奉仕委員会	オホール 1F B	担当相親あいさつ 佐藤 正道 ガバナー一機あいさつ 八巻 美智子 委員あいさつ・委員紹介 白根 真 委員会活動方針及び活動計画 白根 真 意見交換	奉仕活動事例発表Ⅰ 藤田 大 奉仕活動事例発表Ⅱ 菅野 良二
青少年奉仕委員会 ロータリーアクト委員会 学友委員会	3F ホワイエ	青少年奉仕担当相親あいさつ 志賀 利彦 青少年奉仕について 志賀 利彦 ロータリーアクトについて 吉田 隆夫 RYLAについて 菅野 拓司	青少年奉仕について 藤田 元 ロータリーアクトについて 菅野 正道 学友について 松橋 貴仁 青少年奉仕担当相親挨拶 志賀 利彦
ロータリー財団委員会	第二会議室②	担当相親あいさつ 渡邊 公平 担当相親あいさつ 鈴木 邦典 25-26年度ロータリー財団委員会の方針 特 寛重	ロータリー財団地区補助金を使う活動 相良 元章 ロータリー財団地区補助金を集める活動 End Pointについて ファンタジイについて 伊藤 和英 ロータリー財団地区補助金の取り組みについて 吉田 和典 グローバル補助金について 穴内 宏行
米山記念奨学会委員会	第一会議室①	担当相親あいさつ 平井 敬郎 担当相親あいさつ 石黒 秀司 米山記念奨学生 推薦委員長 佐藤 典彦 米山記念奨学生 学友委員長 穴内 宏行 米山記念奨学生 選考委員長 中野 善範 質疑応答 菅野 秀士	米山奨学生の体験発表/パート1 米山奨学生の体験発表/パート2 カウンセラー経験者の体験発表 小村 悦子





ロータリーの友の紹介

雑誌委員会 桃井 三夫委員

【横組みページ】

P05 RI会長メッセージ。

今月の会長メッセージは、ブラジルの若きリーダー、ヴィートル・ホベンティノ氏による寄稿です。彼は、青少年プログラムで学んだチームワークと包摂性の重要性を語り、誰も取り残さない姿勢の大切さを強調。若者の成長を支えるこれらの活動は、ロータリーの進化を支える力となり、会員の支援が成功の鍵となります。

P20 「よねやまだより」へのインドネシア出身の奨学生の記事。

インドネシア出身のカレンさんは、原子力に関心を持ち福井工業大学へ留学。日本語や生活習慣に苦労しながらも成長し、現在は原子炉の安全性向上に関する研究に励んでいます。将来は日本と母国をつなぐ技術者を目指しています。縦P19 「卓話の泉」/水戸ロータリークラブの高尾哲也さん。

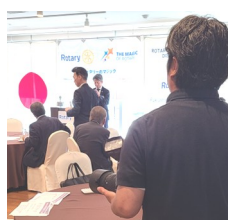
睡眠は健康に不可欠で、日本人の睡眠時間は他国より短く、不足は心身に悪影響を及ぼします。厚労省は個人差を考慮し、日中に眠気がなければ十分としています。就寝前のリラックサや規則的な生活が推奨され、異常があれば専門医の受診が勧められています。

(原稿 亀岡 政雄委員長)

米山記念奨学会より感謝状の贈呈



米山功労者 第12回メジャードナー
佐藤 和子会員



ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員

■佐藤 信雄会長

会長職も残り1か月となりました。
創立35周年を控え、気を引き締めて参ります。

安藤 正道	小林 潤子	宍戸 宏行	山田 稔
石橋 真一	斎藤 高紀	菅谷 敏	渡部九二五郎
植木 博隆	齋藤 康隆	鈴木 和夫	渡邊 英世
梅津 寿光	佐々木 臣樹	鈴木 努	
大出 隆秀	佐藤 和子	多田 憲司	
大澤 益三	佐藤 信雄	芳賀 裕	
熊坂 友好	佐藤 龍史	桃井 三夫	



目標 200万円

本日の投入額 24件 28,000円
累計 1,172,770円